

モロッコ保険協会主催国際イベントへの参画について

2024年6月17日

生命保険協会（会長：清水 博 日本生命保険社長、以下「当会」）は、モロッコ保険協会（FMSAR）が4月17・18日にモロッコ（カサブランカ）で開催した国際イベント「Rendez-vous de Casablanca de l'assurance（カサブランカ保険会合）」に参画しました。

保険関連で世界最大規模を誇る本イベントは、毎年FMSARによって開催され、多様な国・地域から官民問わず多くの保険関係者を迎え、今日的に重要な課題について議論する場となっています。第10回を迎えた本年は、「What insurance in the world of uncertainty?（不確実な世界における保険とは何か?）」をテーマに、世界40か国以上から、1,000名を超える参加がありました。

※プログラム等の詳細は、[イベントHP](#)をご参照ください。

当会の佐々木副会長は、「The Role of Insurance in Addressing Protection Gaps - Japan's Perspective in the Wider Global Context（プロテクションギャップ（以下、「PG」）への対処における保険の役割-より広いグローバルな文脈における日本としての視点）」をテーマとする基調講演を実施しました。佐々木副会長が本イベントに登壇するのは、2018年に続き二回目となります。

佐々木副会長講演骨子

- ・ PGに適切に対処する鍵は、3つの主要な概念、すなわち「Preparedness」、「Prevention」、「Protection」を正しく理解し、この順番にて実践することにある。生命保険協会では、こうした考え方を「3Ps コンセプト」と呼称している。
- ・ もうひとつの重要な「3Ps」として、「Public and Private Partnership」がある。PGの縮小は、官民が一体となって取り組むべき大きな課題であるため、この2つの「3Ps」の相乗効果が不可欠である。
- ・ 保険業は「3Ps コンセプト」を実現できる独自のセクターであり、政府、監督当局および保険会社の間でこのコンセプトを共有し、推進することが重要であると考えます。
- ・ こうした考えのもと官民が緊密に協力することで、PGに対処する実行可能な解決策に到達し社会全体に利益をもたらすことが可能となる。

当会は、国内外の保険監督当局者および保険業界関係者との交流を通じて、国際的な相互理解と合意形成に貢献し、我が国の生保業界のさらなるプレゼンス発揮に引き続き取り組んでまいります。



基調講演を行う佐々木副会長



会場の様子

以上